

## 教育研究等活動業績

山梨英和大学

フリガナ 氏名	性別	生年(西暦) (公表可否)	職名	所属
アイ ミチル 新居 みちる	女	非公表	准教授	人間文化学部人間文化学科 大学院人間文化研究科 臨床心理学専攻
取得学位称号	教育学博士	専門分野	臨床心理学、スーパーヴィジョン学、芸術療法、うつ病の心理療法、スクールカウンセリング	
学歴	2013年	4月	京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程入学	
	2016年	3月	京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程研究指導認定	
	2004年	5月	東京都北区子ども家庭部子育て支援課滝野川北児童館・紅葉こどもクラブ 臨時職員(同年8月まで)	
	2005年	4月	浦安市教育委員会 スクールカウンセラー(2006年3月まで)	
	2006年	4月	千葉県教育委員会 スクールカウンセラー(2013年3月まで)	
	2006年	4月	医療法人社団心癒会しのだの森ホスピタル(2007年11月まで)	
	2007年	11月	医療法人社団爽風会佐々木病院・心の風クリニック(2013年2月まで)	
	2008年	8月	東京都母子生活支援施設葛飾区ふたば荘、江戸川区そよ風松島荘 相談員(2012年10月)	
	2009年	4月	千葉市教育委員会 スクールカウンセラー(2013年3月まで)	
	2010年	4月	日本臨床心理士会私立学校臨床心理士支援事業私立昭和学院中学校・高等学校スクールカウンセラー(2013年3月まで)	
	2013年	4月	国立大学法人京都大学時間雇用教職員教育学研究科ティーチング・アシスタント/リサーチ・アシスタント(2016年3月まで)	
	2015年	4月	追手門学院大学地域支援心理研究センター 臨床心理士(2016年3月まで)	
	2016年	4月	鹿児島県教育委員会義務教育課 スクールカウンセラー(2018年3月まで)	
	2016年	5月	いづろ通カウンセリングオフィス代表(2018年3月まで)	
	2016年	6月	長崎税関鹿児島税関支署 カウンセラー(2018年3月まで)	
	2018年	4月	千葉市教育委員会 スクールカウンセラー(2019年3月まで)	
	2019年	4月	府中カウンセリングオフィス カウンセラー(現在に至る)	
	2019年	4月	神奈川大学大学院人間科学研究科臨床心理学研究領域・心理相談センター助手・相談員(2021年3月まで)	
	2020年	4月	神奈川大学大学院人間科学研究科臨床心理学研究領域非常勤講師(2021年3月まで)	
	2020年	4月	湘南工科大学工学部総合文化教育センター・教職センター非常勤講師(2021年3月まで)	
	2021年	4月	駿河台大学心理カウンセリングセンター助教(2022年3月まで)	
	2022年	4月	山梨英和大学 人間文化学科 准教授(現在に至る)	
	2022年	4月	山梨英和大学大学院 人間文化研究科 准教授(兼任)(現在に至る)	
受賞歴	特になし			
所属学会	2005年	4月	日本学校心理学会	
	2006年	4月	日本心理臨床学会	
	2008年	4月	日本芸術療法学会	

特免資 許許格 等 . .	2006年    4月 臨床心理士 2011年    1月 学校心理士 2012年    4月 日本芸術療法学会認定芸術療法士 2019年    10月 公認心理師
e-mail	非公表

## 目 次

### ○教育業績

教育理念、方針、方法

教育能力

教育方法実践例

作成した教科書、教材等

教育方法や実践に関する発表、講演等

担当授業科目

代表的なシラバス

教育改善活動

教育能力に対する評価

### ○研究業績

研究の特徴

研究経歴

研究実績

著書

学術論文

その他の研究活動

競争的資金採択課題

学会等発表、役員参加

共同研究・受託研究の実績

大学院生指導

研究能力に対する評価

### ○サービス活動業績

学内委員会・作業部会等活動実績

アドバイザー活動実績

後進育成活動実績

社会貢献活動

### ○専門的活動(教育業績、研究業績、サービス活動業績)の統合による成果と目標

専門的成果

専門的目標

### ○添付資料

完全リスト(研究実績、競争的資金採択課題、学会等発表・役員参加、共同研究・受託研究の実績、  
学内委員会・作業部会活動実績)

サンプル(教育能力、代表的なシラバス、教育改善活動、大学院生指導、アドバイザー活動実績、  
後進育成活動実績、社会貢献活動)

評価結果(教育能力に対する評価、研究能力に対する評価)

専門的成果のエビデンス

## 教育業績

教育理念、方針、方法	<p>人が社会場面で自己の興味関心のあるテーマを発見し、主体的に探究していくことを可能にするためには、①体験から生まれる問題意識を大切に考え続ける忍耐力や、②問題を解き明かす創造性、③他者とコミュニケーションするための表現力を要する。大学生の時期に、これらの基盤を身に着けてほしいと考えているため、教育方法としては、学生一人ひとりが、自己の体験から問いを立てていけるように、体験ワークやグループ・ディスカッション、プレゼンテーションを通して、感じたことや考えたことを積み重ね、自己の在り方で表現していけるようにと考えている。心理臨床家をを目指す大学院生に対しては、時代性・地域性・文化性が反映された心理社会的諸問題の現況や被支援者のこころ、ならびに、心理臨床学的な支援の在り方を創造的に探究し、実際の心理臨床現場で問題の本質を見立て、支援方法を考え、被支援者及び周囲の支援者に対してそれらを説明できる力が身につくように、各回のテーマに即した講義内容、受講生による文献調査・発表、事例検討に基づくグループ・ディスカッションにて、探索的に理解を深めていく。</p>
教育能力	<p>(1)教育方法実践例 最新の臨床心理学の知見と、医療領域・教育領域・福祉領域・産業領域・私設心理相談領域の5つの心理臨床実践から得た知見により、理解を深めていくことを目指している。また、関東・関西・九州における心理臨床実践体験から得た時代性・風土・文化・地域に根付いた心理療法、地域臨床などへも着目して、「場」を見立て、そこに生きる人々の痛みやリソースへも着目できるように、「人間」を広い視野から見立てることの重要性についても取り上げている。そして、心理臨床家志望の学生だけでなく、全ての学生が、自らが生きる地域を対象化し、そこで自身の立ち位置や在り方にも目が向けられるような授業を目指している。</p> <p>(2)作成した教科書、教材等 特になし</p> <p>(3)教育方法や実践に関する発表、講演等 &lt;口頭発表&gt; 新居みちる(2023)[招聘]芸術療法の教育訓練と今後の展望. 2022年度京都大学大学院教育学研究科臨床実践指導学講座研修会シンポジウム「さまざまな学派・アプローチにおけるスーパーヴィジョンや訓練システムについて」のシンポジストとして、芸術療法の視点から口頭発表・提言。 &lt;学術論文&gt; 新居みちる(2015)[原著]芸術療法の教育とスーパーヴィジョンの意味ースーパーヴィジョンを通じた“心理的プロセス”と“表現をサポートする機能”の考察ー. 心理臨床スーパーヴィジョン学、京都大学大学院 教育学研究科 臨床実践指導学講座紀要、創刊号、pp.34-48.</p>
担当授業科目	<p>&lt;2022年度&gt; 学部:「臨床心理学概論」「社会・集団・家族心理学Ⅱ」「基礎ゼミナール」 大学院:「臨床心理学特論Ⅰ」「臨床心理学特論Ⅱ」「臨床心理査定演習Ⅱ」「臨床心理実習Ⅱ」</p>
代表的シラバス	<p>「臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ」 臨床心理学は心理支援の援助実践や科学的な研究活動、理論が統合された体系的な学問であり、臨床心理学の実践軸である心理療法などの心理臨床実践には高い倫理性と高度な専門性が求められている。 そのため、「臨床心理学特論Ⅰ」では、臨床心理学の成り立ちや基本的な理論・技法が、実際の心理臨床学的な支援にどのように活かせるのか、臨床心理学の基本的な考え方や臨床心理面接で求められる心理臨床家としての態度を学び、身に付けていく。 「臨床心理学特論Ⅱ」では、現代社会の中で、歴史のある臨床心理学の理論・技法はどのような社会的分野のどのような問題に活かすことができるのか、臨床心理学が生きる3つの実践分野の9つのテーマ、家庭(育児不安・虐待・子育て支援、DV・女性支援・貧困、引きこもり、自殺予防など)、障害(知的、身体、精神、発達)、高齢者(認知症・社会的孤立・介護など)の心理社会的諸問題の歴史、現況、支援制度について広く概観し、それら諸問題を抱えた被支援者のこころ、ならびに、心理臨床学的な支援の在り方とその可能性について、各回のテーマに即した講義内容、受講生による文献調査・発表、事例検討に基づくグループ・ディスカッションにて、探索的に理解を深めていく。 到達目標は、心理臨床学的な支援の在り方を創造的に探究し、実際の心理臨床現場で問題の本質を見立て、支援方法を考え、被支援者及び周囲の支援者に対してそれらを説明できる力を身につけることに置いている。</p>
	<p>1. 学内のFD研修会に毎回参加し、教員間で意見交換、ならびに教育の在り方について振り返り、改善点を見つけ、修正していくことを心掛けている。</p>

教育改善活動	<p>2. 全科目にてGoogle classroomを活用し、授業案内・授業資料やコメントシートの配布を行い、全ての質問に目を通し、次回の授業にて復習として解説するなど、双方向授業を実施している。</p> <p>3. 「最新の研究内容を含めた臨床心理学の知識」と「心理臨床の実務経験から得た知見」を交え、受講生が理解を深めていけるよう授業を展開している。</p> <p>4. 「心理臨床スーパーヴィジョン学」の視点を含め、心理臨床家の教育の在り方を研究し、実践に循環できるよう努めている。</p>
対教育する能力価値	<p>(1) 学生による授業評価 授業評価アンケートでは、概論や特論などの講義科目では「理論を身につけるためのカリキュラムが計算されて組まれていた。授業で使用するパワーポイントもわかりやすく、工夫を凝らしたもので長い授業時間でも飽きさせず、興味を失わせない。また、臨機応変に毎回授業に追加された内容も付加価値の高いものであった。受けるに値する価値の高い授業であった」、演習科目では「理論を教えて頂いてから、実践についての基礎的な部分を丁寧に教えて頂き、内容は満足 of いくものであった。特に描画体験やそれに関する書類作成ができたこと、所見作成については今後の実践に役立つと感じ、非常に良かった」など肯定的評価を頂いている。毎年、内容を更新しながら、知識の習得および体験・ディスカッションによる探索的思考や創造性のアウトプットに繋がる授業を展開していきたい。</p> <p>(2) 同僚教員等による授業評価 特になし</p>

### 研究業績

研究の特徴	<p>博士論文では、うつ病者の回復過程を集団芸術療法の視点から心理臨床学的に研究し、執筆した。また、国内の芸術療法と海外で施行されているArt Therapyの技法の差異についてや、人はなぜ表現をするのか、表現をサポートすることの意義、心理臨床における表現やクリエイティビティの意味、表現・イメージを用いた教育、表現・イメージを用いた心理臨床スーパーヴィジョン学、表現・イメージを用いた教育分析などについても研究をしている。</p>
研究経歴	<p>2005年～2013年 実務家として主に精神科・心療内科等の医療機関における心理臨床業務や少学校・中学校・高校のスクールカウンセリング業務を行う中で研究も実施し、その成果を職場環境に還元し、心理臨床学的支援の向上や環境の改善に努めてきた。 ・病院臨床では、多職種と連携し研究会を開き、ストレスケア病棟や臨床心理課、クリニックならびに復職支援デイケアの立ち上げ業務やプログラム作成などの制度設計、個人・グループの心理臨床業務を行うなかで、うつ病者の回復過程や芸術療法の治療機序に関する研究発表を行ってきた。 ・千葉県スクールカウンセリング業務では、別室登校生徒の通う別室の運営・管理・生徒や保護者へのアンケート調査を実施し、教育委員会に教職員の加配を依頼し、翌年、別室登校生徒の教職員が加配された。また、日本臨床心理士会 私立学校臨床心理士支援事業にて、初年度の千葉県代表スクールカウンセラーとして採用され、私学におけるスクールカウンセリングの立ち上げ業務に取り組んだ。2年後の支援事業終了後、学校が引き続き独自にスクールカウンセラーを雇用する意思を示し、常勤職にした。加えて、千葉市内の小学校スクールカウンセリング事業の立ち上げ業務では、教育委員会と協働し、質・量の統計調査を実施し、翌年に千葉市内の小学校へのスクールカウンセラーの全校配置となった。</p> <p>2013年～現在 ・2013年に京都大学大学院教育学研究科博士後期課程臨床実践指導学講座に進学し、実務家として積み重ねてきた心理臨床実践を振り返った研究発表や、心理臨床スーパーヴィジョン学の構築に向けた研究活動を行った。 ・2018年には芸術療法の視点から「うつ病者の回復過程に関する心理臨床学的研究」についての博士論文を執筆した。 ・2019年より臨床心理士・公認心理師養成の大学・大学院に所属し、心理臨床家の育ちにはどのような要素が必要であるのか検討・考察を重ねている。また、芸術療法の普及と発展に向けて、芸術療法における調査研究を実施している。</p>
	<p>(1) 著書</p> <p>1. 新居みちる(2016)[依頼原稿]弱音を吐く子に出会った時に 弱音の語り”を聴くーこころの機能を育むために. 児童心理、金子書房、pp103-107.</p> <p>2. 新居みちる(2009)[依頼原稿]機能分化が進んだ中学校～充実した援助に必要な相談体制～. 児童心理、金子書房、pp48-49.</p> <p>3. 新居みちる(2009)[依頼原稿]内的世界に流れる水路をたどる. 児童心理、金子書房、pp48-49.</p>

研究実績	<p>4. 新居みちる(2009)[依頼原稿]子どもの表現を見守る—守られた時空間の中で—. 児童心理、金子書房、pp62-63.</p> <p>(2)学術論文</p> <p>1. 新居みちる(2021)[依頼論文]特集1 精神療法の適応・効果とその限界 10芸術療法 芸術療法の適応・効果とその限界—うつ病者に芸術療法を実施する際のアセスメントの観点から—. 月刊精神科第38巻第1号、pp.66-73.</p> <p>2. 新居みちる(2018)[原著]更年期のうつ病女性に対する心理社会的ケアとしての芸術療法の意義—“更年期の女性性の表現”の考察から—. 日本芸術療法学会誌、48号2巻、pp.105-121.</p> <p>3. 新居みちる(2016)臨床実践SVカンファレンス 自殺により混乱状況に陥った組織の緊急支援とスーパーヴィジョン. 心理臨床スーパーヴィジョン学、京都大学大学院 教育学研究科 臨床実践指導学講座紀要、第2号、pp107.</p> <p>4. 新居みちる(2015)[原著]芸術療法の教育とスーパーヴィジョンの意味—スーパーヴィジョンを通じた“心理的プロセス”と“表現をサポートする機能”の考察—. 心理臨床スーパーヴィジョン学、京都大学大学院 教育学研究科 臨床実践指導学講座紀要、創刊号、pp.34-48.</p> <p>5. 新居みちる(2015)リワークにおける集団精神療法の課題と分類概念の提案—集団芸術療法の実践における考察から—. 京都大学大学院教育学研究科紀要、6号、pp.149-161.</p> <p>6. 新居みちる(2015)うつ病女性休職者が更年期に新たな自己を創りなおすことの意味—身体性とアートセラピーの視点から—. 日本芸術療法学会誌、44号1巻、pp.21-32.</p> <p>7. 新居みちる(2015)臨床実践SVカンファレンス 中学校の援助チームの支援とコンサルテーション. 心理臨床スーパーヴィジョン学、京都大学大学院 教育学研究科 臨床実践指導学講座紀要、創刊号、pp127.</p> <p>8. 新居みちる(2015)Prof.Stephen E.Finnを招聘 1日目の研修会 子どもと家族の治療的アセスメント(TA-C)—スケープゴートからの立ち直り—の感想. 心理臨床スーパーヴィジョン学、京都大学大学院 教育学研究科 臨床実践指導学講座紀要、創刊号、pp122-123.</p> <p>9. 新居みちる(2014)双極性障害の休職者への復職支援—“言語的集団療法”と“非言語的集団療法”における表現と体験過程の考察から—. 精神療法、40号4巻、pp.575-584.</p> <p>10. 新居みちる(2013)認知/行動療法の理論を手がかりとしたグループ・アートセラピーの援助効果の検討—復職支援デイケアにおけるうつ病および社会不安を抱える休職者への実践から—. 心理臨床学研究、31巻1号、pp.83-94.</p> <p>11. 新居みちる(2013)思春期・青年期の主な相談内容と精神疾患並びにその対応—私学の学級(学校)運営に今求められていること—. 昭和学院すがの教育、29号、pp.38-44.</p> <p>12. 新居みちる(2010)非定型うつ病の男性への復職支援デイケアでのアートセラピーの意義. 日本芸術療法学会誌、41巻2号、pp.41-52.</p>
	研究実績
競争的資金採択課題 特になし	

<p>学会等参加表・</p>	<p>2023年 3月 新居みちる(2023)[招聘]芸術療法の教育訓練と今後の展望. 2022年度京都大学大学院教育学研究科臨床実践指導学講座研修会シンポジウム「さまざまな学派・アプローチにおけるスーパーヴィジョンや訓練システムについて」のシンポジストとして、芸術療法の視点から口頭発表・提言.</p> <p>2013年 11月 新居みちる(2013)うつ病女性休職者へのアート・セラピー—更年期に新たな器を創りなおすということ—. 日本芸術療法学会大会第45回大会口頭発表.</p> <p>2011年 9月 新居みちる(2011)復職支援デイケアにおけるうつ病及び社会不安を抱える休職者へのグループ・アートセラピーの実践-第三世代の行動療法の理論を手掛かりにして-. 日本心理臨床学会第30回大会口頭発表.</p> <p>2010年 10月 新居みちる(2010)非定型うつ病の男性休職者へのアート・セラピーの試み—復職支援デイケアでの生き方の再構築を目指した支援から—. 日本芸術療法学会大会第42回大会口頭発表.</p>
<p>共同研究・受託研究の実績</p>	<p>特になし</p>
<p>大学院生指導</p>	<p>&lt;2022年度～現在&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>山梨英和大学大学院における大学院生に対して、「臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ」「臨床心理査定演習Ⅱ」「臨床心理実習」の講義を担当し、臨床心理士・公認心理師の養成に携わっている。なかでも、心理的支援における高い倫理性や創造性、表現力を育むことに軸を置いている。</li> <li>ケースのスーパーヴィジョンを実施し、心理臨床の実践指導を行っている。</li> </ol> <p>&lt;2021年度&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>駿河台大学大学院において、心理カウンセリングセンターの大学院生のケースのスーパーヴィジョンを実施した。</li> <li>駿河台大学心理カウンセリングセンターにおける大学院生への実習として、インタークモニターのための事前指導・事後指導・資料作成指導、ならびにインターカーとしてインタークカンファレンスに参加し、心理臨床の実践指導を行った。</li> </ol> <p>&lt;2019年度～2020年度&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>神奈川大学大学院人間科学研究科臨床心理学研究領域の大学院生に対して、「心理実践実習Ⅰ(学内・学外実習指導)」「臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ(ケースカンファレンス、教育面接)」「臨床心理基礎実習Ⅰ(分担授業)」の講義を2年間担当した。</li> <li>2020年度に「障害者心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)」の講義を担当した。</li> <li>大学院生からの要望にて「アートセラピー研究会」も開催し、現場に即した形で実施していけるよう理論と技法の臨床実践指導を行った。</li> </ol> <p>&lt;2015年度&gt;</p> <p>追手門学院大学大学院心理学研究科の大学院生に対して、ケースのスーパーヴィジョンを実施した。</p>

に研究 評価 する 能力	2018年に執筆した京都大学博士論文「うつ病者の回復過程に関する心理臨床学的研究－集団芸術療法の視点から－」に対して、「データに基づく治療意義のみに偏りがちな医療に新たな視点を投じる重要な論文として、今後の大きな飛躍への布石となるものである」と高く評価され、博士(教育学)の学位論文として価値あるものと認められた。
-----------------------	---

## サービス活動業績

学内 委員会 等 活動 実績	2022年度	以下の学内委員会活動の委託を受け活動した。また、その他の活動を実施した。 ・大学院入試委員 ・心理臨床センター長の指示の元、遊具の再点検を行い、多様な臨床心理的支援が行えるよう調整を図った。 ・心理臨床センターにおける守秘義務遵守について問題提起をし、新型コロナ後の記録の作成・保管について教員・大学院生間で議論を重ね新体制に向けて準備をした。
アドバイザー活動実績	2022年度	学部では、1年生13名のアドバイザーを担当した。
後進育成活動実績		1. 山梨英和大学大学院にて、大学院生のスーパーバイザーを務めている(2022年～現在)。 2. 私設心理相談機関における個人契約の元、医師、臨床心理士、公認心理師の個人スーパーバイザーやコンサルテーション、教育分析を行っている(2016年～現在)。 3. 駿河台大学大学院、神奈川大学大学院、追手門学院大学大学院において、臨床心理士・公認心理師を目指す大学院生のスーパーバイザーを担い、心理臨床家の養成に携わった(2015年～2021年)。 4. 精神科・心療内科などの医療機関や母子生活支援施設、スクールカウンセリングなどの心理臨床現場にて、臨床心理士を目指す大学院生の外部実習指導や現場の心理臨床家に対する指導を実施した(2007年～2018年)。
社会 貢献 活動	(1)講演会	<p>2018年 7月 「小学校不登校対策研修会 小学校のスクールカウンセリングの現状と課題」千葉市教育委員会教育支援課からの依頼により、美浜区18校の小学校教員、養護教諭、特別支援コーディネーター、教育委員会指導主事、適応指導教室教員に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2018年 7月 「いじめ対策研修会 平成30年度学校いじめ防止基本方針に基づく日常のカウンセリング業務からの提案」千葉市立磯辺小学校からの依頼により、管理職・教職員に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2018年 3月 「ヘルスリスナー研修 メンタルヘルス対策」長崎税関からの依頼により、鹿児島税関支署のヘルスリスナーに対する講演会講師を務めた。</p> <p>2016年 11月 「支援の谷間を考える－高等学校における特別支援を要する生徒に対する合理的配慮の実例－」鹿児島県立甲南高校からの依頼により、管理職・教職員に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2016年 11月 「子どもの発達に必要な発達段階に応じた関わりと個別性への配慮」鹿児島県口之島小中学校からの依頼により、管理職・教職員・保護者を対象に講演会講師を務めた。</p> <p>2016年 8月 「新人職員研修 心の健康づくり－メンタルヘルス ストレスマネジメント－」長崎税関からの依頼により、鹿児島税関支署の新人入職員に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2016年 8月 「配慮を要する生徒の支援の実例」鹿児島県立武小中学校からの依頼により、管理職・教職員に対する講演会講師を務めた。</p>
		<p>2016年 5月 「Holding機能を再考する－口之島小中学校の子どもたちとの対話から－」鹿児島県口之島小中学校からの依頼により、管理職・教職員に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2013年 1月 「思春期カウンセリングからみた子どもの発達に大切なこと」千葉市立稲毛中学校おやじの会(父親における養育を考える会)からの依頼により、PTA・地域住民・保護者に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2013年 1月 「先生方のためのストレスマネジメント－メンタルヘルス一次予防対策－」千葉市教育委員会事務局学校教育部保健体育課 教職員メンタルヘルス巡回訪問からの依頼により、千葉市立稲毛中学校の管理職・教職員に対する講演会講師を務めた。</p> <p>2012年 4月 「復職に向けての知識」医療法人爽風会心の風クリニック復職支援ダイヤルからの依頼により、ダイヤル利用者に対する講演会講師を務めた。</p>

社会貢献活動	2011年	2月	「抱えることと手放すことを再考する」千葉県教育委員会」からの依頼により、市川市立下貝塚中学校の管理職・教職員に対する講演会講師を務めた。	
	2009年	10月	「思春期カウンセリングー子どもの発達に必要なことー」千葉县市川市立下貝塚中学校家庭教育学級からの依頼により、PTA・保護者を対象に講演会講師を務めた。	
	2007年	4月	「医療従事者のためのストレスマネジメント」「医療法人社団心癒会しのだの森ホスピタル院内教育部門」からの依頼により、職員を対象に講演会講師を務めた。	
	(2)出前講座	2022年	8月	山梨英和大学オープンキャンパス模擬授業「高校生のための臨床心理学ー今知っておくと良いことー」
	(3)公開講座	年	月	
(4)学外審議会・委員会等	年	月		
(5)その他	2019年	4月～現在	府中カウンセリングオフィスにて、カウンセラーとして臨床心理面接ならびに医師・臨床心理士・公認心理師のスーパーヴィジョン、教育分析を実施している。	

## 成果と目標

専門的成果	<p>①うつ病者に対して国内外でArt Therapyや集団芸術療法は殆ど実施されておらず、表現の視点からうつ病者の回復過程を論じたものは皆無であったが、博士論文にて、うつ病休職者の回復過程について論じ、うつ病者への心理療法として、集団芸術療法がどのように機能するのか、その有効性と限界についてまとめた。また、うつ病休職者の回復や復職に必要な支援の在り方についても論じた。</p> <p>②国内の芸術療法と海外で実施されているArt Therapyの差異について、整理されていないため、整理した。また、うつ病者に芸術療法を実施する際に必要なアセスメントについても論じた。</p> <p>③Art Therapyの技法・素材・プログラム研究を行い、呈示した。</p>
専門的目標	<p>①国内で唯一の博士後期課程 臨床実践指導学講座で学んだ「心理臨床スーパーヴィジョン学」の構築に向けて、主に、表現・イメージを用いたスーパーヴィジョン並びに心理臨床家の教育について研究を進めたい。加えて、人はなぜ表現をするのか、表現をサポートすることの意義、心理臨床における表現やクリエイティビティなどの根源的なテーマについても取り組みたい。</p> <p>②国内の芸術療法と海外で施行されているArt Therapyの技法の差異について研究を推し進め、体系づけたい。</p> <p>③本学における教育に力を注ぎ、効果的な教育の在り方について先生方とも意見交換をしながら、共に考え、構築していきたい。</p>

作成基準日	2023年3月31日
-------	------------